

## 名古屋学院大学 留学生別科 Q & A

### 出願にかんして

Q 1 卒業証明書は原本が必要ですか？

A 1 出願時はコピーでかまいません（ただし中国の方は公証書を添付してください）。合格通知が届いた時点で、かならず原本を送ってください。

Q 2 推薦書は2名分提出しないといけませんか？

A 2 かならず2名分が必要です。

Q 3 推薦書を書いてもらう日本語の先生がいないのですが。

A 3 かならず日本語先生のものでないといけませんので、書いてもらえない場合は残念ながら本学に出願することはできません。

Q 4 財政能力証明の表し方はどうしたらよいですか？

A 4 募集要項を読んでいただければわかりますが、親が支弁する場合は、FORM5を日本に在住する支弁者の場合はFORM6を使って、提出してください。

Q 5 出願料は出願書類と一緒に送ってよいですか？

A 5 かならず出願書類と一緒に「郵便為替」で送ってください。なお、小切手では受け付けませんので、注意してください。

### 合格後にかんして

Q 1 「在留資格認定証明書」は自分で申請しないといけませんか？

A 2 本学で申請は行います。ただし、認定までに時間がかかりますので、証明書の送付が遅れることを前もって理解してください。

Q 2 在留資格認定証明が不許可された場合、すでに納入した入学手続き金はどうなりますか？

A 2 本学より指定された銀行口座に、振り込み手数料を除いた金額を返金します。

## 生活にかんして

Q 1 寮に住むことはできますか？

A 1 学内に「国際セミナーハウス」があり、希望者は入居できます。1室に6畳と4.5畳があり、家賃は光熱費込みで6畳は月35,000円、4.5畳は月30,000円となります。本学の日本人学生もレジデンス・アシスタント（RA）として入居していますので、困ったことがあれば皆さんのお手伝いをします。但し、部屋数は限られますので、入居できない場合もあります。

Q 2 学外に住むこともできますか？

A 2 学外に大学協定の寮が男女別にあります。大学の補助があり、朝食・夕食つき、光熱費は別途で月40,000円となります。こちらも部屋数が限られていますので、早めに申込をしてください。

また、自分でアパートを見つけて大学近くに住むこともできますが、入居時に敷金・礼金を20万円ほど払う必要があり、また部屋の電気・家具類は全て自分で用意しなくてはなりません。家賃も月5万以上はかかりますので、あまりおすすめできません。

Q 3 初めて外国に住むので不安ですが。

A 3 皆さんが日本にいられてから3週間、本学の日本人学生がみなさんのチューターとしてお世話をします。中部国際空港への出迎え、セミナーハウスへのチェックイン、外国人登録、国民健康保険加入、携帯電話加入、銀行口座開設、日常生活品の買出しなどのお手伝いをしてもらえます。困ったことがあれば、何でも相談してください。

Q 4 月々の生活費はどのくらい必要ですか？

A 4 個人によって異なりますが、住居費を除いて最低5万円は必要ですので、滞在に必要なお金の計画をたててください。

Q 5 アルバイトはできますか？

A 5 入国管理局への申請を行い、許可が得られれば1週間に28時間まで働くことはできますが、本学留学生別科の授業では宿題が多くありますので、アルバイトができる時間はほとんどないと考えてください。

Q 6 病気をしたときの保険はありますか？

A 6 本学別科生は入学時にかならず「国民健康保険」に加入してもらいます。加入者の各種医療費の7割を保険で負担してもらえるので、個人の支払額は3割となります。保険料は月2－3千円ほどとなる予定です。

さらに、日本学生支援機構が外国人留学生に対して、日本国内において健康保険を取り扱う医療機関で病気または負傷のために治療を受け、医療費を支払った場合、35%の医療費を補助する制度もあります。詳しくは入学時に国際交流センター職員から説明があります。

Q 7 地元の人達とふれあう機会はありますか？

A 7 小学校を訪問したり、近くの公民館で着物をきたり、歌舞伎を鑑賞するなど、さまざまなイベントを用意しています。

Q 8 フィールドトリップはありますか？

A 8 毎年10月と5月に1泊2日で実施します。昨年度は岐阜県「白川郷」と「京都・奈良」を実施し、全員が参加しました。(費用は大学は負担します)

#### 授業にかんして

Q 1 留学生別科のクラス分けはどう行いますか？

A 1 各学期はじめに日本語能力試験を行います。その結果によりI～Vまでの5段階クラスのどれかに振り分けられます。

Q 2 大学の学部の授業を受けることができますか？

A 2 レベルIVとVを受講している学生は、通常の日本語クラスとは別に学部の授業も受講することができます。単位も取得できます。

Q 3 授業時間は毎日どれくらいですか？

A 3 このサイトの授業時間割をみてください。午前中はだいたい授業があります。午後は選択する科目によって1-2コマ授業を受けます。

Q 4 奨学金制度はありますか？

A 4 文部科学省からの奨励金(2008年度は月額5万円)があります。また本別科独自の奨学金制度もあり、毎年5月と10月に掲示板で募集を行います。

Q 5 企業でのインターン体験はできますか？

A 5 希望者には毎年7月と2月に2週間、地元企業の協力を得て日本企業での体験をすることができます。修了後「インターンシップ」として2単位が認められます。

Q 6 授業以外の相談はできますか？

A 6 毎週決まった時間に授業についての相談ができる機会を設けていますので、気軽に相談してください。

#### 修了後にかんして

Q 1 日本の大学に進学をしたいのですが

A 1 各大学で実施する入学試験を受けなくてははいませんが、日本留学試験の受験が求められるところが多くありますので、注意してください。進学希望の方は、本学別科入学時にかならず、日本語教員に相談をしてください。それぞれの希望にあわせて、指導をします。

Q 2 名古屋学院大学に進学をしたいのですが

A 2 本学留学生別科を修了した人を対象に、特別試験制度があります。しかし、修了したらかならず試験に合格できる約束はしておりません。在学期間中にしっかりと日本語の勉強をして、日本語能力試験や日本留学試験での結果をきちんと残さなくてはいけません。

合格できるかどうかは本人の努力しだいです。

以 上